

[江別市] 施策達成度報告書

政策 03 安心を感じる保健・医療・福祉の充実

施策 05 高齢者福祉の充実

主管課 介護保険課

施策の環境変化と課題

施策の環境変化 (22年度)	施策の課題 (22年度)
<ul style="list-style-type: none"> ・介護サービスの普及と予防事業の強化・拡大 ・経済環境の変化 ・福祉事業への民間参入と在宅福祉化 ・高齢者人口増加 高齢化率22.2% (H22.10.1)	<ul style="list-style-type: none"> ・充実した在宅福祉サービスの提供と介護予防対策の取組み ・新しい制度や対策などの確な情報提供 ・除雪等に対する需要増とボランティアの人材不足 ・生きがいづくりに向けた社会参加、交流活動等の取組み

施策の目的

高齢者が自立し、地域交流や社会参加をすることで、生きがいを持って生活できるまちを目指します。また、必要な介護サービスが受けられることで家族の負担を軽減します。

対象 (誰を対象とした指標か)

高齢者

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

- ・高齢者が自立し生きがいを持って生活ができる。
- ・必要な介護サービスが受けられ家族の負担が軽減される。

施策の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

施策の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
生きがいを感じている高齢者の割合	%	74.1	78.9	-		↗
介護サービスが充実していると思う市民割合	%	90.8	84.6	-		↗

施策の達成状況 (22年度)

- ・高齢者人口の増加とともに要支援・要介護者数も増加しており、自立高齢者の割合はほぼ横ばい傾向にある。
- ・引き続き在宅サービスを中心とした介護サービスを推進するとともに介護予防の普及に向け活動していく。

施策事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度当初予算
トータルコスト(千円)	436,592	417,690	380,669
事業費(千円)	425,055	409,627	371,712
人件費(千円)	11,537	8,063	8,957

01 地域交流と社会参加の促進

基本事業の目的

住民同士や地域内の交流、高齢者クラブ等への参加、ボランティア活動等を通じて、元気な高齢者を増加させます。

対象 (誰を対象とした指標か)

高齢者

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

・元気で、生き生き生活できる(生きがいがある、健康である)
 ・住民同士や地域内の交流する。
 事業等への参加 事業運営などの活動参加 ボランティア活動参加

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
高齢者クラブ加入者及び老人大学受講者数	人	4,693	4,880	4,796		5,200
誰かと交流している高齢者の割合	%	46.6	48.6	-		↗

基本事業の達成状況 (22年度)

・高齢者数が増加している一方で、高齢者クラブ会員数はやや減少傾向にあり、社会福祉協議会等と連携して、各種事業、ボランティア活動等の社会参加の促進を図る。

基本事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度当初予算
トータルコスト(千円)	33,309	27,898	29,581
事業費(千円)	29,491	25,641	26,648
人件費(千円)	3,818	2,257	2,933

02 介護予防と自立生活の支援

基本事業の目的

高齢者等の健康の保持・増進のための介護予防・自立生活支援サービスを充実させ、健康で自立した生活ができるようにします。

対象 (誰を対象とした指標か)

高齢者

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

高齢者等の健康の保持・増進に関し、安定したサービスが受けられる。介護予防・自立生活支援の充実により生涯を通じて健康で自立した生活が維持できる。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
介護予防事業を利用している高齢者の割合	%	22.6	22.8	26.8		23.0
健康と思う高齢者の割合	%	69.4	65.1	-		↗

基本事業の達成状況 (22年度)

・高齢者人口は増加しており対象者が増えているが、利用者数、利用割合とも前年度より増加している。

基本事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度当初予算
トータルコスト(千円)	130,124	112,763	125,949
事業費(千円)	125,642	110,023	123,180
人件費(千円)	4,482	2,740	2,769

03 在宅福祉サービスの充実

基本事業の目的

適切なサービスを提供することで高齢者の自立を支援し、住み慣れた地域で少しでも長く在宅生活が継続できるとともに、家族の負担を軽減することができます。

対象 (誰を対象とした指標か)

在宅の要介護者及び家族

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

- ・介護状態に応じた適切なサービスの提供により高齢者が在宅で不便の無い生活を送ることができる。また家族による介護をすることができる。
- ・住みなれた地域で安心して生活が出来る。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
介護サービス利用者のうち、居宅介護サービス利用割合	%	76.6	79.3	79.7		79.8
介護サービスの満足度 (在宅福祉利用分)	%	84.0		86.8		↗

基本事業の達成状況 (22年度)

在宅サービスの利用率はほぼ計画通り増加している。サービス満足度についても前回調査より増加しており、量の増加による質の低下が懸念される状態ではない。

基本事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度当初予算
トータルコスト(千円)	3,273	10,806	4,913
事業費(千円)	2,775	10,081	4,425
人件費(千円)	498	725	488

04 施設サービス機能の充実

基本事業の目的

在宅生活が困難な要介護者を施設に入所できるようにし、必要なサービスを受けることにより安心した生活を送ることができます。

対象 (誰を対象とした指標か)

施設入所要介護者等

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

- ・在宅生活が困難な要介護者等が、施設等において必要なサービスを受けて、安心した生活を送ることが出来る。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
要介護度4以上の施設入所待機者数	人	238	229	269		200
介護サービスの満足度 (施設サービス利用分)	%	85.6		87.3		↗

基本事業の達成状況 (22年度)

・高齢者人口の増加や施設の長期入所者が多いことなどから、待機者については漸増している状態であるが、施設入所者の満足度は前回調査より増加している。

基本事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度当初予算
トータルコスト(千円)	268,918	245,053	217,583
事業費(千円)	266,677	243,441	215,303
人件費(千円)	2,241	1,612	2,280